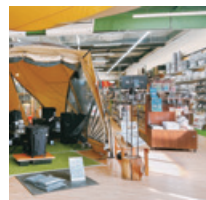
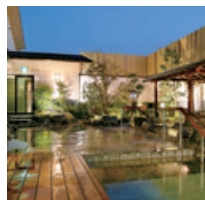




FINANCIAL REPORT 2025

## 第79期株主通信

2024年4月1日から2025年3月31日まで



証券コード：8225

# 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ、第79期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）における事業の概況と決算をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2024年度の当業界をとりまく経営環境は、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で持ち直し、観光・レジャー需要も回復基調が継続する一方、人口減少に伴う労働力不足、原材料価格や資源価格の高騰、実質所得の伸び悩みと節約志向の継続など、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループは経営の基本方針として、レジャー産業を基軸にした総合商社として常に環境の変化に対応し、新たな需要の創造と機能性の向上を目指すとともに、事業を通じ生活文化の向上に貢献し、日々新たなる挑戦により企業文化の創造と育成を図ってまいりました。

具体的には、労働力が不足する中、納品体制や組織体制を見直し業務の効率化と生産性の向上に努めるとともに、賃金体系や処遇、制度の見直しを実施し不足する労働力確保に努めてまいりました。また、商品構成や商品価格の見直しを実施し高騰する原材料価格への対応を進めるとともに、商品開発への投資を強化することで回復する市場への対応を進めてまいりました。

本年3月には日本アジア投資株式会社と業務提携を結び、全国の観光土産品に関わる企業との協業、日本アジア投資株式会社の持つ海外ネットワーク

を活かした展開を進めていく予定です。

その結果、第79期における当社グループの経営状況は、各投資が先行したこともあり利益面では昨年と比較し減少しましたが売上高は昨年と比較し増収となりました。

第80期におきましては、今期より新たな長期ビジョンとして「地域魅力創造プロデューサー企業」を掲げ、そのための新たな中期経営計画を策定しております。

年度方針として「革新－変革に向けた事業再構築－」を掲げ、新たな長期ビジョン、中期経営計画の達成に向けた体制作りを進め、環境変化に迅速に対応していくため意識改革と業務改善を実行するとともに、限られた経営資源を再配分し、成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長

久保田一臣

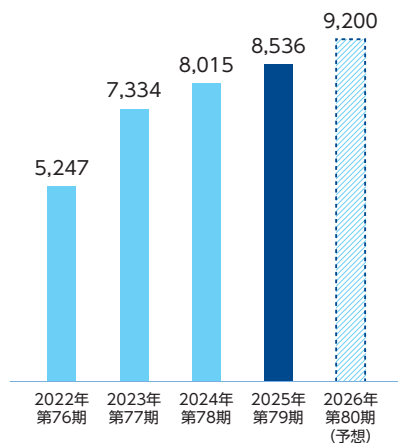


# 財務ハイライト

## Financial Highlight

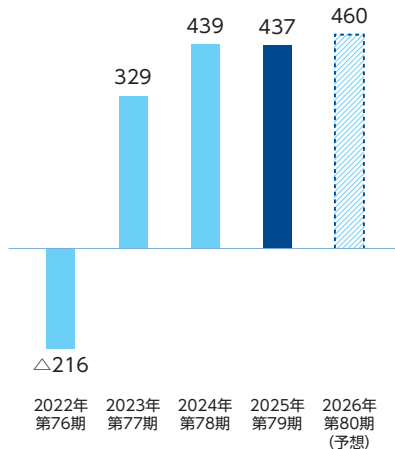
### 売上高

(単位：百万円)



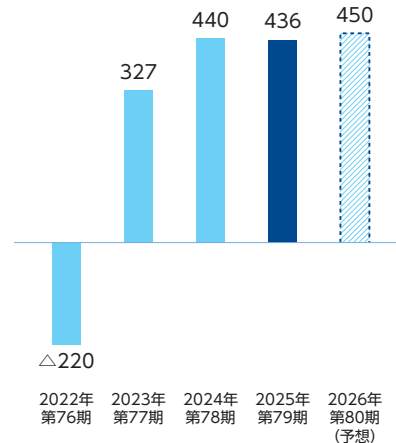
### 営業損益

(単位：百万円)



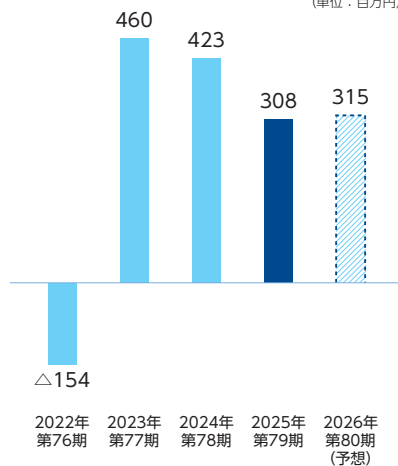
### 経常損益

(単位：百万円)



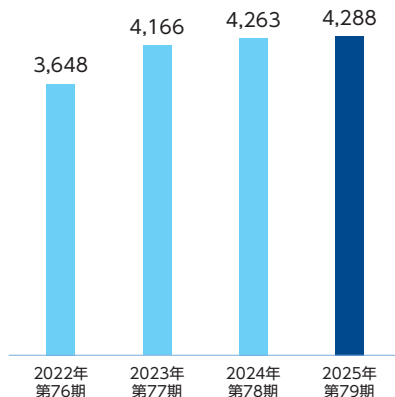
### 親会社株主に帰属する当期純損益

(単位：百万円)



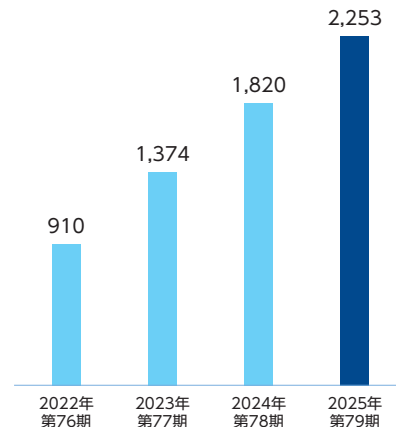
### 総資産

(単位：百万円)



### 純資産

(単位：百万円)



# 事業の概況

## Business Overview

---

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大、インバウンド需要の拡大が続き、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

一方で、観光事業における慢性的な労働力不足や人的コストの上昇、また物価上昇による資源価格及び原材料価格の高騰、節約志向と消費マインドの冷え込み、米国の相互関税による景気動向への影響など、先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「企業価値の向上 企業価値を意識した業務推進」をスローガンに掲げ、生産性向上のための人的投資、機会を捉えた商品供給による販売強化と商品開発への投資、業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,536百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は437百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は436百万円（前年同期比0.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は308百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大、インバウンド需要の拡大が続き、景気は緩やかな回復傾向が継続しつつも物価上昇による資源価格

及び原材料価格の高騰、節約志向と消費マインドの冷え込み、米国の相互関税による景気動向への影響など、先行きの予測は難しい状況にありますが、当社グループでは「革新－変革に向けた事業再構築－」を年度スローガンとして新たな価値創造・業務効率化と生産性の向上・意識改革・業務改善を実行し組織体制の強化を図ります。

当社グループはレジャー産業を基軸とした総合商社として、戦略的な顧客管理と戦略商品の企画開発による市場シェアの拡大を図るとともに、安定顧客の維持及び新規顧客・店舗の開拓と発掘を実践するため成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めます。

営業施策といたしましては、観光みやげ品事業での新規業務による更なる収益拡大を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

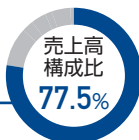
また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

# 事業別の概況

## Segment View

### みやげ卸売 事業

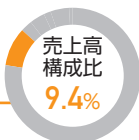
6,616 百万円



みやげ卸売事業は、開発商品の拡充をはかり積極的な商品展開を行った他、観光需要の緩やかな増加と暖冬の影響を受け受注が増加し、みやげ事業の開発人員をみやげ卸売事業に集約したことによる費用増を吸収でき、売上高は6,616百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は561百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

### みやげ小売 事業

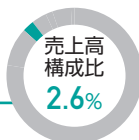
800 百万円



みやげ小売事業は、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響はありましたが、観光需要の緩やかな増加を受け、旬粋事業においてブランドガイドラインの見直しを実施した他、オリジナル新商品の導入に注力したこと及び開発部門を卸売事業へ統合したことにより、売上高は800百万円（前年同期比5.6%減）となり、営業利益は70百万円（前年同期比116.5%増）となりました。

### みやげ製造 事業

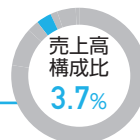
219 百万円



みやげ製造事業は、観光需要の緩やかな増加と暖冬の影響及び新商品の投入や既存商品の規格変更及び価格変更等リニューアルを進めたことにより、売上高は219百万円（前年同期比38.8%増）となり、営業利益は39百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

### 温浴施設 事業

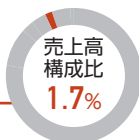
317 百万円



温浴施設事業は、サウナ人気を意識した熱波イベントの実施、飲食及び付帯設備の拡充により来客数が増加しましたが、資源価格の上昇による運営費増加により、売上高は317百万円（前年同期比3.2%増）となり、営業利益は49百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

### 不動産賃貸 事業

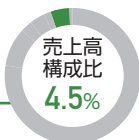
148 百万円



不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の緩やかな回復が継続しましたがテナントの入れ替えによる一部空室と修繕費用が高み、賃料収入は148百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業利益は49百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

### アウトドア 用品事業

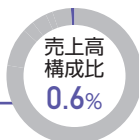
385 百万円



アウトドア用品事業は、ポイントカードのデジタル移行及び積極的なイベント出展による会員増強を実施し来店客数の増加を図ったものの、一部店舗が賃借契約満了により閉店したほか、テントなど的高額商品を中心に需要減退が続いており、売上高は385百万円（前年同期比11.7%減）となり、営業損益は26百万円の営業損失（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

### その他事業

48 百万円



その他事業は、飲食店の運営が含まれます。物価上昇による節約志向を受けメニューの見直し等を行いました。原材料価格の上昇により、売上高は48百万円（前年同期比5.8%減）となり、営業利益は1百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

# 財務諸表

Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 2025年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>2,191,464</b>
現金及び預金	929,651
受取手形	40,307
売掛金	674,598
商品及び製品	436,536
原材料及び貯蔵品	52,557
その他	59,054
貸倒引当金	△ 1,241
<b>固定資産</b>	<b>2,097,135</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,522,345</b>
建物及び構築物	537,774
機械装置及び運搬具	31,831
工具器具備品	49,919
土地	902,820
<b>無形固定資産</b>	<b>147,082</b>
ソフトウェア	47,219
その他	99,863
<b>投資その他の資産</b>	<b>427,707</b>
投資有価証券	54,477
敷金及び保証金	92,189
繰延税金資産	237,713
その他	52,364
貸倒引当金	△ 9,036
<b>資産合計</b>	<b>4,288,600</b>

科 目	当 期 2025年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,012,643</b>
支払手形及び買掛金	421,022
1年以内返済予定長期借入金	257,244
賞与引当金	55,318
契約負債	13,346
未払金	59,682
未払費用	65,995
未払法人税等	46,730
その他	93,302
<b>固定負債</b>	<b>1,022,045</b>
長期借入金	717,069
資産除去債務	97,545
長期預り保証金	195,581
その他	11,850
<b>負債合計</b>	<b>2,034,688</b>
<b>(純資産の部)</b>	
<b>株主資本</b>	<b>2,239,052</b>
資本金	1,000,000
資本剰余金	747,563
利益剰余金	553,491
自己株式	△ 62,002
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>14,858</b>
その他有価証券評価差額金	14,858
<b>純資産合計</b>	<b>2,253,911</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,288,600</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	8,536,884
売上原価	6,146,884
売上総利益	2,390,000
販売費及び一般管理費	1,952,897
営業利益	437,102
営業外収益	10,022
受取利息及び配当金	1,163
受取事務費手数料	539
受取手数料	4,758
その他	3,560
営業外費用	10,612
支払利息	7,202
自己株式処分費用	2,916
その他	493
経常利益	436,512
特別利益	348
助成金収入	348
特別損失	892
固定資産除却損	80
関係会社清算損	812
税金等調整前当期純利益	435,967
法人税、住民税及び事業税	70,396
法人税等調整額	56,925
当期純利益	308,645
親会社株主に帰属する当期純利益	308,645

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 62,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 218,909
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,977
現金及び現金同等物の期首残高	834,674
現金及び現金同等物の期末残高	929,651

## 連結株主資本等変動計算書 当期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
2024年4月1日期首残高	1,000,000	701,882	270,550	△ 166,409	1,806,023	14,343	14,343	1,820,367
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 25,704		△ 25,704			△ 25,704
親会社株主に帰属する当期純利益			308,645		308,645			308,645
自己株式の取得				△ 393	△ 393			△ 393
自己株式の処分		45,681		104,800	150,481			150,481
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						514	514	514
連結会計年度中の変動額合計	—	45,681	282,940	104,406	433,029	514	514	433,544
2025年3月31日期末残高	1,000,000	747,563	553,491	△ 62,002	2,239,052	14,858	14,858	2,253,911

# トピックス

Topics

## 2025大阪・関西万博公式ライセンス商品の企画発売

2024年3月に締結した2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィスとのサブライセンシー契約に基づき、2025大阪・関西万博公式ライセンス商品を企画発売いたしました。

4月13日に会期が始まった2025大阪・関西万博会場内オフィシャルストアには、当社企画の商品55点を供給しております。また、万博会場外の公式記念品売店や全国各地の土産物専門店、小売店の催事等では、当社製造のプリントクッキーやチョコサンドクッキーをはじめとした会場外商品9点を供給・販売しております。

また、グローバルなお客様への情報発信として、当社が運営する多言語対応の土産紹介ブログ「Japanese OMIYAGE Guide」にも本商品の情報を掲載いたします。使用原材料やアレルギー情報など、英語・中国語をはじめとした多言語での情報提供を行うことで、外国人観光客に対しても安心・安全かつ魅力ある商品提案を進めてまいります。

### 商品のご紹介

万博公式ライセンス商品



会場内販売商品



会場外販売商品

## 劇場版『名探偵コナン 隻眼の残像（せきがんのフラッシュバック）』との公式タイアップ

地域の魅力を活かした新たな商品展開として、長野県産りんごを使用した新商品4点を、劇場公開に合わせて発売いたしました。本商品は、劇場版『名探偵コナン 隻眼の残像（せきがんのフラッシュバック）』との公式タイアップ企画として開発されたものであり、長野県の地域資源を活用した取り組みの一環です。

今回の劇場版では、長野県の雪山が舞台となっており、雄大な自然や伝統文化が物語の中で美しく描かれています。当社ではこの作品と連携し、映画に登場する地域の魅力を全国に発信したいと、長野県産りんごを使用したお土産商品を企画いたしました。パッケージには本作の描き下ろしイラストを使用し、映画ファンのみならず、多くの方々に手に取っていただける商品に仕上げております。

商品は、長野県内の土産物店やサービスエリア、道の駅、駅売店、スーパーマーケットなどで販売しており、観光需要や話題性を取り込んだ販売戦略を展開しております。

今後も当社は、地元の特産品と全国的な話題性を融合させた商品開発を通じて、地域経済の活性化と企業価値の向上に努めてまいります。

### 名探偵コナン コラボ商品



「しほりっぱなしりんごジュース（税込1,177円）」



「キャンディポップコーン（税込410円）」



「ホワイトクリームインクッキー（税込961円）」



「りんごタルト（税込939円）」

©2025 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会

# 株式の状況

Stock Information

(2025年3月31日現在)

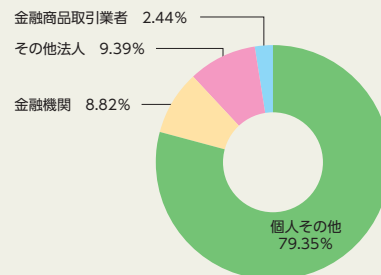
発行可能株式総数 1,600,000株  
 発行済株式の総数 727,500株  
 株主数 1,200名

## 大株主

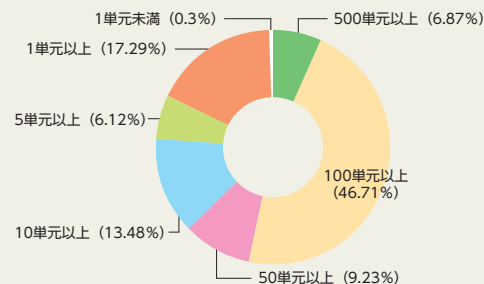
株主名	持株数	持株比率
投資事業有限責任組合 JAICスペシャルティファンド	50,000 <sup>株</sup>	7.18 <sup>%</sup>
久保田 一 臣	46,802	6.72
投資事業有限責任組合 JAICパートナーズファンド	42,000	6.03
ガバナンス・パートナーズ 投資事業有限責任組合	41,100	5.90
株式会社八十二銀行	31,100	4.46
宮 尾 聡	26,087	3.74
久保田 優 子	24,700	3.54
長 野 信 用 金 庫	24,000	3.44
所 正 純	21,738	3.12
二本松 武 典	16,214	2.32

(注) 当社は、自己株式31,582株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

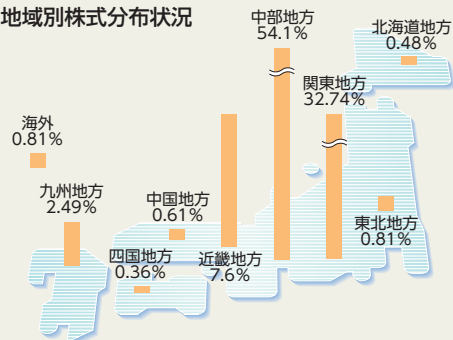
## 所有者別株式分布状況



## 所有数別株式分布状況



## 地域別株式分布状況



# 会社概要

## Corporate Data

(2025年3月31日現在)

社名	株式会社タカチホ
所在地	長野県長野市大豆島5888番地
設立年月日	昭和24年2月28日
資本金	10億円
従業員数	連結 136名 個別 136名
主な事業内容	当社の事業は、観光みやげ品の卸売事業・小売事業・製造事業、温浴施設事業、アウトドア用品事業、不動産賃貸事業及びその他の各事業で構成されております。

主要な事業所 (2025年4月1日現在)

本社	株式会社タカチホ	長野県長野市大豆島5888番地
営業所	長野営業所	長野県長野市大豆島5888番地
	松本営業所	長野県松本市野溝東一丁目2番37号
小売店	みやげ品小売店	「九九や旬粋」(長野県) など7店舗
	一般商品小売店	「バンバン松本店」(長野県) など2店舗
製造工場	「お菓子工房」	(長野県) 1施設
温浴施設	「まめじま湯ったり苑」	(長野県) 1施設
その他	「ショッピングタウンあおぞら」	(長野県) 1施設・1店舗
連結子会社	有限会社タカチホ・サービス	長野県長野市大豆島5888番地
	株式会社越後銘販	新潟県新潟市中央区大島156番地1
	株式会社札幌旬彩堂	札幌市白石区菊水元町八条三丁目5番55号
	株式会社青森銘販	青森県十和田市東三番町3番41号
	株式会社奥羽銘販	岩手県盛岡市津志田中央二丁目7番8号
	庄和堂株式会社	山形県鶴岡市文下字広野11番地1
	株式会社蔵王銘販	宮城県仙台市宮城野区萩野町一丁目13番地8号
	株式会社郡山銘販	福島県郡山市安積町荒井字大久保45番地1
	株式会社赤城銘販	群馬県沼田市久屋原町212番地5
	株式会社佐渡銘販	新潟県佐渡市上矢馳640番地
	株式会社東京旬彩堂	東京都足立区入谷一丁目12番14号
	株式会社富士銘販	静岡県御殿場市板妻字82番地67
	株式会社ひだ銘販	岐阜県高山市松本町72番地1

役員構成 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長	久保田 一 臣
専務取締役	宮尾 博 聡
取締役	寺島 千 博
社外取締役	湯原 儀 芳
社外取締役	山田 暁 子
常勤監査役	所 正 純
社外監査役	滝澤 亮
社外監査役	宮澤 幸 彦

社長以下3名の取締役は執行役員を兼務いたします。



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://kk-takachiho.jp/">https://kk-takachiho.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 **タカチホ**  
本社：長野市大豆島5888番地 〒381-0022  
TEL (026) 221-6677 FAX (026) 221-1346  
URL：<https://kk-takachiho.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## ホームページのご案内

インターネットのホームページにて、決算短信などの企業情報のご提供、営業活動のご紹介、オンラインショッピングによる商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://kk-takachiho.jp/>

## 旬粋オンラインショップのご案内

インターネットのオンラインショッピングページにて商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://syunsui.raku-uru.jp/>



QRコードからもご覧いただけます。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

## おみやげガイドのご案内

インバウンド対応として英語と中国語で味やアレルギー等の商品説明を行っております。

アドレスは <https://souvenir-jp.net/>